

## 毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける。



私たちは食を扱う企業として、毎日の食生活を豊かにする事業活動とともに、明日の食を守るために、サステナビリティ活動に取り組むことで、人々の幸せを実現していきます。

多様な人財が活躍し、地球環境、そして「食」を守り続けることで、2047年に100周年を迎え、その先も発展していきます。

### サステナビリティ基本方針

加藤産業グループは、「豊かな食生活を提供して、人々の幸せを実現すること」というミッションを通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を目指します。

そのために、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、これらの解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

### 4つのマテリアリティ



### サステナビリティ推進体制

代表取締役社長執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会を設置しています。さらに、サステナビリティ委員会の下部組織として、マテリアリティごとに4つの分科会を設置し、意思決定できる体制を整えています。



### 目指す姿と2030年目標

マテリアリティ	目指す姿	2030年目標
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライチェーン全体の脱炭素のために、生産者から消費者までの全体最適を実現する</li> <li>● 省エネルギー、創エネルギー、非化石エネルギーの調達、カーボンオフセットの活用により、カーボンニュートラルを達成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CO<sub>2</sub>排出量の削減 2021年度比 30%削減</li> </ul>
フードロス&ウェイスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭用食品の廃棄量を削減するために、サプライチェーン全体を最適化するプラットフォームを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 返品ゼロ</li> <li>● 食品廃棄2021年度比 50%削減</li> <li>● 廃棄が必要な食品の有効活用</li> </ul>
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境負荷を低減するために、石油から新たにつくられるプラスチックや、適切に管理されていない森林由来の紙資源を使用しない流通システムを構築する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流資材における代替プラスチックへの移行とプラスチック類の再資源化100%</li> <li>● すべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮</li> </ul>
多様な人財の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な能力、価値観を持った人財が、それぞれの立場で活躍できる会社となる</li> <li>※当社グループは性別、キャリア、年齢、障がい、国籍等の多様性を有しており、さらにお互いが尊重し合うことで、複眼思考による継続的な成長と永遠の発展を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジェンダーギャップを解消し、安心して働き続けられる職場環境を作り上げる</li> <li>● 男性育児休業取得率100% (注) 当社単体目標</li> </ul>

●「目指す姿」の達成時期は、当社が100周年を迎える2047年を想定しています。

### サステナビリティに配慮した展示会・新製品発表会

神戸国際展示場にて、当社主催で毎年開催している総合食品展示会(年2回)・新製品発表会(年2回)では、以下のようなサステナビリティへの配慮を行っています。

- 会場で使用した電力をカーボンオフセットし、会場のCO<sub>2</sub>排出量ゼロに!
- 余ったサンプル商品をフードバンクなどに寄贈し、“もったいない”を“ありがとう”に!
- 試食容器をプラスチック容器から一部紙製容器へ切り替え、環境にやさしく!



### 社内啓発

2030年目標の達成に向けて会社が一丸となるよう、各事業所へのポスター掲示やイントラネットでの情報配信を通して従業員一人ひとりの意識向上を図っています。

